

## ご挨拶



岩手県立軽米高等学校同窓生の皆さまにおかれましては日頃より同窓会活動へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、会員相互親睦の向上と母校の発展を図ることを目的に同窓会が設立され、皆様方のご支援ご協力を得て活動をしてきたところですが、令和2年に起きた新型コロナウイルス感染症の猛威により数年たった今なお同窓会活動のみならず、私たちの生活も制限を余儀なくされています。令和2年以降は軽米の故郷を離れ暮らされている同窓生の皆さまと一堂に会しお会いできる機会となっていた総会も開催することが出来ない年もございまして、同窓会長として心苦しい日々が続いておりました。

新型コロナウイルス感染症の流行から2年以上が経過した昨年にやっと行動制限も緩和され、6月15日には母校である軽米高校で、懇親会なしの同窓会総会を3年ぶりに開催、また6月25日には東京支部総会がアートホテル日暮里ラングウッドを会場に開催され、同窓会長であります私も招待いただき心待ちにしていた支部総会と懇親会に参加することが出来ました。3年ぶりとなる同窓生の皆様方との再会で相互の親睦・交流が図れたことをとても嬉しく思っています。

1年に1回の同窓会報の発行ではございますが、同窓会の活動や軽米高校の生徒の皆さんの素晴らしい活躍を報告させていただいております。ご高覧いただければ幸いです。

故郷である軽米町の現況を報告いたしますと、人口減少や少子高齢化が進んでおり、新年度の軽米高校への入学者数も1学年2学級を維持するために必要な40人を下回るとの厳しい状況

も予想されております。

そのような状況を踏まえ、軽米町では子育て支援日本一を目指し、子ども達がよりよい環境の下で保育・教育が受けられるよう保育園、小学校の新築やICT教育の充実への取り組み、また保育料の完全無料化、中学校まで給食費の無料化を実施し、高校生世代への施策としては18歳までの医療費の無料化、路線バス通学者へのバス運賃の助成、副食給食の提供（給食費の一部助成）、軽米高校教育振興会を通じて外部講師による学習会開催、部活動支援、英語検定・漢字検定受験料の助成など様々な子育て世代の負担軽減に力を入れています。これらの施策に必要な財源の一部に、「ふるさと」を思う皆様が、自らの意思で納税する自治体を選択し寄付していただく「ふるさと納税」が町の貴重な財源として活用されています。ふるさと納税により故郷軽米を応援していただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

このように様々な施策を展開しておりますが人口減少・少子高齢化に歯止めがかからず、今後数年で軽米高校の存続が危ぶまれる事態が想定されます。高校の存続が軽米町の生命線であり、高校生の姿が町から消えてしまうことは何としても阻止しなければなりません。皆様方のお力でなんとか、現在の1学年2学級40人以上を維持出来ますよう、町、町民、同窓生の力強いご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

新年度は共に笑顔でお会いできることを切に願うとともに、多くの同窓生の皆様のご参加を役員一同心からお待ちいたしております。

結びに、母校のたゆまぬご発展と同窓生の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

同窓会長(第27回生) 松浦満雄

## 支部会だより

### 東京支部「9代目東京支部支部長畑澤です。」

東京支部支部長(第34回生) 畑澤康弘  
柔道部 長倉出身



日頃より、東京支部活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年度、9代目東京支部新支部長に選任されました畑澤康弘です。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

私は59年軽米高校を卒業上京し東京支部会員として22歳の時同窓会デビューしました、その後都合のつく限りなるべく出席するよう努めてまいりました。出席者(会員)を増やしたい等々の熱意も先輩方から評価され48歳の時副支部長として9年間、同窓会に携わってまいりましたが今回、君成田邦雄前支部長の健康上の理由による退任申出と役員改選がない限り、東京支部支部長という大役を仰せつかりました。

今後は諸先輩方の築き上げてこられた同窓会東京支部会を、肅々と引き継ぎつつ盛り上げ、繋がり・絆・癒しをモットーに次の代へと繋げて参りたいと思っております。

昨年令和4年同窓会東京支部は、おとし・去年と2年続けて中止した経緯があり、「今年こそは」という思いで役員・スタッフ皆で準備を進めてき

ました。しかし、そのさなかに感染は急拡大し、第7波が到来、新規感染者が拡大したものの落ち着きを見せていたこともあり、難しい選択に迫られました。開催するのなら今しかないタイミングであるという判断により3年ぶりに開催されました。

君成田前支部長も私も是非でも開催を願ってましたし、役員・スタッフ・会員の方からも会議・ヒアリングを行い開催決定となりました。役員・スタッフリーダーからは「どうやったらできるか、この1年、そればかり考えていた。やらないほうが楽だが、続けないと同窓会東京支部が壊れてしまう」という話も出ていました。

今思うと強行の感も拭えないのですが、同窓会東京支部が口火を切って開催し、他の支部にも開催できる事を模範として示そう、という意味合いもあり、その後の在京軽米会も開催の運びとなりました。

令和4年度軽米高校同窓会東京支部総会及び懇親会が2022年6月25日(土)アートホテル日暮里ラングウッドにて出席者40名で開催されました。

コロナ禍のなか、なかなか出席人数も集まらず苦労しましたが同窓会各支部のなかでさきにかけて東京支部が手本となるような同窓会を開催できたと思っております。

こちらの様子は活動報告に記してありますのでご覧になって頂ければと思います。

#### 【支部長就任の挨拶】

同窓会・役員・スタッフ・会員の皆様におかれましては、決意を新たに元氣でお過ごしのことと拝察いたします。日頃より同窓会活動に対しましてご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げますとともに、今年も母校発展のために皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

さて、私は令和4年6月25日開催されました「総会及び懇親会」において、東京支部長の君成田邦雄先輩がご勇退されることに伴い、9代目同窓会東京支部長として選出・承認され、同窓会東京支部長を拝命いたしました山舘康弘(34期生)でございます。同窓会東京支部長就任にあたり、同窓会の基礎を築いてくださった君成田前支部長はじめ、役員・スタッフ・会員の皆様のご尽力に対しまして会員を代表して心から感謝申し上げます。同窓会の運営にあたり、君成田前支部長・歴代先輩方が築かれた基礎を大切に、さらに会員にとっても、また母校にとっても同窓会が必要不可欠で頼りがいのある存在となるよう、新役員一同心を一つにして同窓会を発展させて参る所存です。

東京支部といたしましても、母校の支援、同窓生の親睦を柱とした同窓会発足時からの目的を果たすとともに、繋がり・絆・癒しの場であるよう地域社会貢献の一躍を担いたいと考えております。最後に同窓会活動の一層の充実と会員相互の連携や交流が更に深まり、母校の益々の発展を祈念申し上げます。就任のご挨拶といたします。



2022.5.30 母校にて「同窓生の事例から学ぶ自己実現のありかた」と題し進路指導講演会

## 東京支部「活動報告」

東京支部・支部長・兼事務局長(第34回生) 畑澤 康弘

総会は2年連続でコロナ禍で中止が決まり今年こそは開催を、と望み役員・スタッフ・全員で準備してきました。

準備等も2年ぶりという事でなかなかスムーズに進めることができなかつたこともありましたがコロナ禍のなか、なかなか出席人数も集まらず苦勞しましたが同窓会各支部のなかでさがけて東京支部が手本となるような同窓会を開催できたと考えています。

母校から金濱千明校長先生・兼平爵臣先生同窓会本部から松浦満雄会長・中村正志副会長・千葉千賀副会長・茶屋隆監事・コラボ参加で地元産業「姫が森牧場」会長 田中裕典さん・福岡工業高校卒木村欣央さん、総勢40人で開催しました。3年ぶりの同窓生との再開に話も弾み母校の近況を聞く姿も真剣そのものでした。恒例の「軽高常識クイズ」も今回は景品をふるさと商品と役員スタッフ提供の景品もあり皆さん帰りはお土産の紙袋がいっぱいになってました。

各会員から嬉しい報告もたくさんありクイズ大会も大盛り上がり締めめの校歌斉唱の前に28期生山舘博行さんがウクレレ持参戸「ふるさと」を合唱は、感動のものでした、そのあとの校歌斉唱で追い打ち！

泣いちゃいけないと思ってた私の眼からもうっすら光るものが特に今回はなんとと支部長交代の事も私にとっては色々思う事があって前支部長からなんと私が新支部長に事務局長兼務です。

東京支部は、同窓会のみならず企画・イベントなどを開催し繋がり・絆・癒しを大切に参ります。

昨年は、2022年1月15日ボーリング大会・かけを食す会 14名参加 わたくしごとですが、2022年5月30日 母校にて進路指導講演会、講師として「同窓生に学ぶ自己実現のありかた」で講演してきました、全校生徒対象だったのでが在校生全員が真剣にご清聴頂き感動と喜びで嬉しさいっぱいになりました。

また、軽米秋祭りが開催される旨の連絡が届きな日流し踊りに同窓会東京支部として6名と参加者は少なかったのですが在校生と共に参加させて頂きました。

今年度もボーリング大会・かけを食す会・屋形船納涼会・パーベキュー大会なども企画しようと思っておりますので、お声掛けくださいれば幸いです。

最後に令和5年度 東京支部総会及び懇親会はアートホテル日暮里ラングウッドにて令和5年6月24日(土)に開催を予定しております、盛岡市・仙台市・遠方から来られる方には今回も大人の休日クラブが適用される日となっておりますのでご検討して頂ければいかがでしょうか、学生さん20歳未満の方・夫婦・家族での出席も大歓迎です。

皆様、万障お繰り合わせの程伏してお願い申し上げます。



2022.6.25 軽米高校同窓会 東京支部総会及び懇親会



2022.9.18 軽米秋祭り in 流し踊り (先生・在校生と共に)

## 東京支部「我が人生これから」

東京支部幹事(第28回生)小玉川出身 山舘 博行

私の前職は小玉川市野々で農林畜産業特にもオールシーズン放牧体系の酪農を実践していました。

愈々これからだという矢先に目の障害者になり農業を廃業。以来視覚障害者の道を歩んでいます。

2002年単身函館の視力障害センターに入所、鍼灸あん摩マッサージ指圧師免許を取得し、横浜・埼玉県久喜市・そして8年前に江東区にダイサービス



立ち上げのスタッフの一員として転居現在に至ります。その間紆余曲折もありましたが今では地域の皆様から信頼される好評を頂くまでになって空き情報がないほどです。感慨無量の感です。3年前60の手習いで始めたウクレレを皮切りを高じて5つの楽器を買い始めデイをはじめ実践しています。中学1年時の音楽の先生の影響です。

又島村楽器の皆様には大変感謝しています。人生100年時代を生きるポケットの一つとして音楽を通じた第二の人生を楽しみながら闊歩します。

職場いちばん星のユニホームと共に

## 東京支部「根っ子は軽米っ子」

東京支部幹事(第31回生)吹奏楽部 下新町出身 田畑 康裕

昭和56年3月、軽米高校を卒業しました。57年、盛岡の美容学校での学習を終え、埼玉県浦和市(現さいたま市)に来て早40年になります。軽米中、高時代は部活の吹奏楽の事ばかり考えていたように思います。楽しかったですね。高校も卒業間近、さあ進路を決める、という時にどのように決めたのか覚えていませんが、何しろ頭は悪い運動も出来ない、力仕事も無理、親もホトホト困り果てていたのではないのでしょうか。それでも19歳で美容の道へ入り、還暦の今でも続いているということは天職だったのではと今では思っています。浦和の美容室へ就職した際に新人歓迎会で村田英雄さんの「夫婦春秋」を先輩方の前で歌いました。そこから大変です。

会社のイベントの司会や先輩の結婚式の司会もずいぶんやらせて頂きました。ついには歌好きも高じてプロの歌手さんのショーの司会も。どうやら人前で話す事が好きだったらしいです。

もちろんまだまだ現役で美容師をしていますが、休みの日は御婦人方を相手にカラオケ教室もしています。「カラオケでもやらないとボケてしまうわ、」と口々におっしゃいます。



職場の仲間達と

楽しそうな皆さんの笑顔を見ていると少しは社会貢献出来ているかな?などと思うのです。

「北国の春」に軽米を重ね、綺麗な夕焼けを見ると軽米の景色を想い、蝉の鳴き声を聞くと軽米のアブラゼミの声を重ね(笑)。都会に何十年いようと根っ子は軽米っ子。まだまだ頑張りますよ!

## 東京支部「私の原点」

東京支部幹事(第32回生)合唱部 円子出身 永田(浅水)規子

曖昧ですが記憶に残っているのは…学年ごとだったか忘れてましたが、柔道場で説明を受け女子だけで介護施設を訪問した事です。入居者さんの中に占いの出来る方がいらっしゃいました。

メモ用紙代わりに丁寧に広げられたゴールデンバットのパッケージに、氏名・生年月日を書いてお渡しして、次に訪問したときには占いの結果が出来ていました。私にとっては初めての占い師さんですね。

部活は合唱部でしたがフォークダンス部(必修科目?)でも介護施設に行きました。記憶にあるのは入居者さんと一緒に『呷めぐり』の曲で踊った事です。私はおばあちゃんだったので皆さんとの交流は楽しかったです。

卒業後は東京で就職。結婚して子育てが一段落してからはダイサービスで働き、利用者さんから「いつか行く道、通る道」という事を学びました。今はコロナ禍でお休みしていますが、ママさんコーラスに参加したり傾聴ボランティアをやっています。高校で経験した事が今に繋がっているのかなあと思っています。あと、もう一つの思い出は献血です。

学校に献血バスが来ました。子供の頃、父から「自分は黄疸だからもし輸血するような事になったら返せないでその時は代わりに返して」と、どこまで本当の事かわかりませんが言われた事があり、きつとやらなきやと思ったので。16歳以上で献血が出来るので5月生まれの私は1年生の時から出来ました。ちなみに父は輸血など無縁で今も元気に暮らしています。

この経験は良いきっかけとなり、今でも近くの駅に献血バスが来た時は協力しています。

卯年生まれの私。うさぎのようにぴよんぴよんとはいきませんが、皆さんとの



献血手帳と10回記念品頂きました。

繋がり大切に、そして慌てずマイペースで…これからもよろしくお願ひします！

## 東京支部 「軽高卒業後の歩み」

東京支部会員(第23回生)バスケ部 蓮台野出身 前川(館下)三知代

私は軽米高校卒業後、軽米を離れても軽米の学生たちが全国レベルで大活躍の情報読むたびに誇らしく思っております。

私は、インドでも指導し米国でも2回住み50カ国以上渡航し、夫がスタンフォード大学客員教授で、私も同大の国際センターで教えました。父が、多くの木と森を台風被害から救い全国的林野庁から理事長賞を頂きNHKドラマ主人公で出演。私も同じ番組に昔デザイナーで出演経験あります。

岩大時代、演劇の大会で大絶賛され超有名な映画監督が会いに来たのを、断ったせい？

台詞覚えに苦労し、アイデア人間と自覚してからです。大卒後に働きながら3つの専門学校も通い、3分りメイクなどで6回受賞し日本TVで教え大手雑誌や新聞でも4回掲載されました。

仕事したくて、夫と戦い育てた、子供たちは超病弱で私も難病発症

米国の心理学(男性と戦わない等)で、育てた三男は、親もビックリの子に文武両道、どちらも都でトップクラス、東大の医者になりました。私は昨年、心理学と整体20年以上研鑽積み健康推進優秀賞受賞、今は体内年齢マイナス15歳とても元気、歌も英語も教えるため利用し、5回優勝、都カラオケ大会ベストパフォーマンス賞受賞、2つのダンスも教えてます。

名前は使命でもあるようで、三は沢山の意味もあり、やたら勉強したが、教えるの大好き、夫の夢にも頼まれ、小説で500万円の賞も受賞された？  
いつか皆様にお会いして私のアイデアが少しでもお役にたてること願ってます(笑)



心理学とダンスで奇跡の1枚

## 東京支部 「私の高校生活の思い出」

東京支部会員(第24回生)テニス部 尾田出身 長瀬 義孝

私の高校生活の思い出と言えば何と言っても部活動に尽きると思います。中学校から指導を頂いていた中村正志さんをはじめとする諸先輩の勧めで軟式庭球部(今で言うソフトテニス)に入部しました。

まさに学業そっちのけで練習に明け暮れていました。雪のない季節はテニスコートで練習し、雪や雨でコートが使えない時は体育館で基礎体力作り、またロードワークなど正月でもお盆でも休みはなく、今思えば何かに取りつかれた様に没頭していたと記憶しています。

しかしその甲斐あってか自分は大きな記録を残せませんでした。1年先輩の江刺家正司・大内田ベアが県民体育大会で優勝し岩手県代表の国体選手に選出された事、1年後輩の江刺家邦彦・小笠原ベアがインターハイ出場を果たした事を自分の事の様に嬉しかったことを思い出します。

さて高校3年生になってからも進学が就職かあまり真剣に考えていなかった私に当時進路指導の中野先生から紹介されたのが、臨床検査技師という職業でした。そして1973年4月に埼玉医科大学付属医学技術専門学校に入学し3年間夜間の専門学校で学びました。昼間は8時30分から病院の検査室の現場で検査補助の仕事をして夜は17時30分から21時まで授業がありました。

新設の医学部であり、お陰で医学部の学生に講義をされている教授達が我々夜間の学生にも講義をしてくれたのは幸運でした。その時言われたのが国家試験には全日制と夜学の区別など頑張って資格を取るようにと。それでも若かった事、また同じ目標の仲間がいたので格段キツイとは思いませんでしたが今思うとよくやれたものだなあと自分でも思います。

現在夜学は無く殆どが4年制に移行していますが、病院内での検査技師の仕事は採血業務・血液検査(肝機能や腎機能を調べたり)・血算・尿検査・便検査・心電図・エコー検査・細菌検査・輸血業務・病理学的検査等多岐に渡ります。1978年9月大宮赤十字病院(現在さいたま赤十字病院)に入職して最初は生化学(肝・腎機能)検査室に勤務し後年は専ら細菌検査に従事した後2018年に退職するまで約40年勤務しました。そして定年退職後2019年10月に虫垂炎で入院、2021年5月に自転車同士の衝突事故で顔面骨折・頭蓋骨骨折・口唇裂傷で入院(現在ほぼ完治)、2022年6月にはコロナに感染(幸い軽症で後遺症はありません)この3年間あまり良い事の無かった私ですが今年こそ穏やかな日々を過ごしたいと思っております。

また皆様にとっても良い年であります様お祈りいたします。

## 盛岡支部

(第33回生) 田端 政人

早いもので軽米高校を卒業してから40年以上が経ちました。

軽米高校を昭和58年3月に卒業して、県職員として仕事をさせていただいていますが、盛岡支部の活動は、木村事務局長におんぶに抱っこ状態で、支部総会への参加(そもそも他の支部と同様に3年ほど開催できていません)も決してレギュラーとは言えず、ちょっと申し訳なく思っています。

普段の生活で軽米高校出身ということを意識する場面はそう多くはないものの、知り合いが軽米高校の活躍記事を見つけて「すごいね。がんばってる

ね。」と言われたりすると、自分のことのように嬉し恥ずかしくなったりするのは、母校愛かなと思ひながら、同級生や先生の顔を思い出したりしています(思い出せない人もいるのは老化か?)。

一方、仕事では同窓の方々にはずいぶんとお世話になったと、この原稿を書きながら思い出しています。

若いころは、おじさん?の先輩に「おー、軽米高校か。家はどこ?」から始まって、丁寧に?ご指導いただきましたし、それなりの年になってからは関係者に先輩や後輩を見つけると「お願い!」の一言でお互いに協力できたりしたものです(現在進行形です)。こういった関係はすごくありがたく感じています。

拙い文章で独り言のようなことを書いてしまいましたが、これからも同郷・同窓のキズナを大切にしていこうと思っています。

長引くコロナで人との距離感も変わりつつありますが、やはり1年に1回くらいは、マスクを外した顔を見て、お酒を飲みながら独特の軽米弁を駆使して軽米高校の今昔を語りたいものです。早くそうなりますように。

## 盛岡支部

(第36回生) 山崎 忠

軽米高校昭和61年3月卒の山崎忠です。

私は、高校を卒業して岩手県職員として入職し、久慈を皮切りに盛岡、大船渡などいろいろなところを転勤しながら、令和4年度から県庁ふるさと振興企画室で働いております。

県庁では、木村先輩、福田先輩をはじめ、軽米高校出身の若い人も多く頑張っておりまして。

同じ県庁といっても、部署が違うとなかなか顔を合わせる機会が少ないので、コロナ前に行われていた年1回の懇親会が、貴重な顔合わせの機会だったなとしみじみ思っています。

働き始めて、盛岡の夜もわからない時に、同窓会懇親会の2次会に先輩に連れていってもらい楽しい時間を過ごしたのが、昨日のように思い出されますが、気づけば、私もあつという間に年齢も50代半ばにさしかかり、月日が経つのは早いものだと感じております。

話は変わりますが、高校時代は、陸上部に所属し、夕暮になると茶屋先輩、大清水先輩などがやってきて、競技面、人生訓などいろいろご指導をいただきながらクラブ活動をしたことを懐かしく思うとともに、軽米町在住の先輩のありがたさを感じております。

令和5年は、卯年で、卯の跳ねるという特徴から、飛躍する向上するといった縁起の良い年と言われているようです。

仕事柄転勤がつきもので、しばらく軽米を離れ、頻繁に帰省できていませんが、故郷の軽米町がいつまでも良い町、そして発展していくことを祈念しつつ、コロナ禍の中、なかなか交流できていませんが、先輩、同級生、後輩などと一献お酒を酌み交わす日が来ることをお待ちしております。

## 盛岡支部

(第51回生)吹奏楽部 向高家出身 山下(旧姓高田)千佳

はじめまして!山下(旧姓高田)千佳です。軽米高校を卒業後、岩手大学に進学し、卒業後は大学職員として岩手大学で働いています。これからよろしくお願ひします。

さて以前、盛岡出身の方から「軽米から大学に入れるってあなたは優秀だったんだね。」と言われたことがありました。「いやいや失礼でしょう。」と憤慨しましたが、よく考えると他の高校にはないような多様な学習の機会を軽米高校は与えてくれたのだと思います。進学クラスではセミナーハウスで勉強会が開かれたり、予備校講師による集中講義があったり、先生方も生徒のことを親身に考え真剣に向き合ってくださいました。町に進学塾等はないけれど、高校でしっかり勉強に取り組みあとは自分自身で努力をすればどんな大学にでも行ける、何者にもなれる、そういった希望や誇りを与えてくれたと思います。

勉学面に加え、人生でも大きな影響がありました。それはシンガポールとマレーシアへの修学旅行です。軽米高校としても海外への修学旅行は初めてということで当時かなり画期的だったと思います。初めての飛行機や外国で生徒たちは大興奮。日本にはない文化や気候に触れひとり一人がそれぞれの良い思い出を作りました。私もこのシンガポールの修学旅行をきっかけとして英語を深く勉強しようと決めました。海外へのハードルが低くなったのもこの旅行の影響が大きいです。私はこれまでにプライベートや仕事で16カ国に行き仕事では外国の方と英語でコミュニケーションをとる毎日ですが、この修学旅行がなければ今の私はいなかったかもしれません。海外への修学旅行、ぜひいつか復活して欲しいです。



左端が筆者。修学旅行先のシンガポールにて

おまけに高校で夫となる人と出会いました。学生時代は教員免許の取得のため実習でお世話になりました。軽米高校にはお世話になりっぱなしです。そろそろ何かお返しできればよいなと考えております。

## 九戸支部 同窓会報発刊にあたり

九戸支部長(第22回生) 坂本 豊彦

私は、令和元年11月に軽米高校同窓会九戸支部定期総会において、本川前支部長の後任として支部長に就任いたしました昭和47年卒業(第22回生)の坂本豊彦と申します。

大変、微力ではありますが、本部を始め会員の皆様のご協力を賜りながら、精一杯務めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、九戸支部の総会は、例年、校長先生、同窓会長、同窓会役員各位のご出席を賜り支部総会を開催してきたところですが、ここ3年間は新型コロナウイルス感染拡大の恐れから、令和2年には書面決議での対応で実施し、その後は中止とせざるを得ない状況でありました。

少しでも早くコロナが終息し、例年のような会員相互の対面での総会ができることを切に願っているところでございます。

私の住んでいる九戸村にも唯一の県立伊保内高校があります。松浦会長もお話しているように、少子高齢化に伴い軽米高校でも生徒数の減少等により、存続が危惧される事態に直面しているとのことでもあります。

当村でも、伊保内高校の存続に向け、村を挙げて色々な施策を講じ、生徒の確保に努めておりますが、生徒数の減少が続き、正に危機的状況にあります。

このように厳しい中であっても、軽米、伊保内の両校にとって非常に明るいニュースがありました。それは令和4年夏の全国高校野球岩手県大会において、軽米、伊保内の連合チームが勝ち上がり、見事ベスト16に進出するという快挙を成し遂げたことであります。このことは岩手県初の快挙であり、マスコミ等でも広くとりあげられ、両町村民に夢と希望を与えてくれたところでもあります。限られた時間での練習など非常に厳しい環境下にありながらも、素晴らしい成果を取ったことは、他の小規模校にも勇気を与えたことと思います。誠に素晴らしい活躍であり、心から敬意を表するところであります。

私の個人的な意見ではありますが、地方においては人口の増加等が見込めない中において、今後においても、高校の再編等の議論が進むものと思われま

す。そのような事態に遭遇した際においても、軽米、伊保内の両校が共に協力し合いながら、より良い教育環境の構築に努めていければと考えているところであります。

結びにあたり、軽米高校、軽米高校同窓会の益々のご繁栄と会員の皆様方のご隆盛をご祈念申し上げ、挨拶とします。

## 八戸支部

支部長 兼田 茂人

2023年、明けましておめでとうございます。

同窓会員の皆様におかれましては、日々、ご活躍中のことと心からお喜び申し上げます。

また、同窓会、母校への理解、ご協力に対しまして感謝申し上げます。

3年に及ぶコロナとの生活が余儀なくされ、日々の外出行動、買い物、行事、イベント、祭り等、たくさんのご制限される生活だったような気がします。一歩外へ出ると、手の消毒、マスク着用、大声を出さない等々、不便な毎日であり、ワクチン接種の手紙が届くたびに、振り回されて緊張したものでした。このような生活から、一日でも早く解放されることを会員のみなさんといっしょに願いたいと思います。

さて、八戸支部は昨年も総会を見送り開催されませんでした。11月5日(土)八戸支部の会計監査を予定していたところ、日時の都合がついて、軽米町から、松浦会長、中村・千葉副会長、茶屋監事の4名が参加され、会計監査と近況報告会を開くことができました。話が進むにつれて話題となるのは、現在の軽米町の状況、高校時代の思い出話で盛り上がりました。やはり、総会は開催していきたいと認識いたしました。

町の風景、山、川、橋、高校までの登り坂、何も変わっておりません、ふる里軽米を思う気持ちが少しでも「心のやすらぎ」となっていることに気付かされました。

結びに、新型コロナウイルス感染拡大が終息することを願い、多くの同窓会員の皆さまが笑顔でお会いできることを八戸支部からもお祈り申し上げまして、ふる里「軽米」母校の更なる発展と同窓会員の皆さま方のご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

# 同窓会 事務局だより

## 〈令和4年度 同窓会総会〉

5月16日(月)に令和4年度常任理事会を開催し、6月15日(水)に本校視聴覚室にて総会を開催しました。コロナ禍ということで、従来より規模を縮小しての開催となりましたが、3年ぶりの開催で、同窓生の皆さんのお元気なお顔を拝見し、久しぶりにお会いすることができた総会でした。まだまだ油断のできない昨今で、総会を開けない支部もある中で、開催できたことは、大変喜ばしいことでした。関係役員の方々、ご尽力ありがとうございました。

## 〈令和4年度活動報告〉

- 令和4年4月7日(木) 入学式
- 令和4年5月16日(月) 同窓会常任理事会
  - 役員改選について
  - ⇒令和5年度会計監査まで、現状で進める。
  - 会計監査
- 令和4年6月15日(水) 同窓会総会
  - 役員改選について
  - ⇒理事会の原案が承認
  - ・事業計画について
  - ⇒承認
  - ・会計予算について
  - ⇒承認
- 令和4年6月25日(土) 同窓会東京支部総会
  - : アートホテル日暮里ラングウッド
- 令和4年11月5日(土) 同窓会八戸支部役員会
  - : レストランきの字
- 令和5年2月28日(火) 同窓会報第49号発行予定
- 同窓会贈呈式(証書ホルダー、クリアファイル贈呈)
- 令和5年3月1日(水) 本校卒業式
- 盛岡支部総会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
- 九戸支部総会 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止



## 〈令和4年度~令和5年度本部役員〉

- 会長 松浦 満雄
- 副会長 中村 正志、千葉 千賀、小林 福正、小林 浩、江刺家 雅弘
- 監事 茶屋 隆、木戸口 春彦



# 軽高教育奨励基金の話

校長 金濱 千明

私、校長として三年目、平成初期にも教諭として六年勤めましたので通算九年の勤務となりました。PTAおよび同窓会員の皆さまには、平素より本校の教育活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年度の本紙面で「軽米町ではここ三〇年余りで平均所得が倍増するとともに、軽米高校の上級学校への進学率が向上し、高卒就職率が減った」という内容の文章を掲載しました。確かに三〇年ほど前は大学進学への意志や能力が十分あっても家庭事情等で進路変更する生徒がいましたので、当時の先生方は進学実現に向け腐心していました。

その頃の話を紹介します。当時も、経済的に困難がある家庭へ奨学金制度や学費免除制度など、進学にかかる費用負担の軽減方法はありました。ところが、そのような制度は毎月いくらの金額に限定されたものであり、負担の大きい入学時一時金は保障されませんでした。その一時金を賄えず、進学を断念するケースがあったと聞いたことがあります。また、学力的なハードルが非常に高い国公立大学への進学を推奨していたのは、当時国公立大学の学費が安上がりだったことと学費の免除制度があったことが要因でした。

学力的なハードルの高さには教員による熱心な進学指導で対応しました。通常の授業や進路希望に応じた個別添削指導に加え、一年時からの平常課外授業、町内の宿泊施設に泊

りながらの学習合宿では夜遅くまで授業と自学自習、特別課外では放課後四コマの授業を午後九時まで実施したことがありました。教員のマンパワーで出来ることは何でもやっていました。結果、平成三年度からの国公立大学の合格者数は安定して二ケタを出せるようになりました。私は大学卒業後、初めての職場が軽米高校でしたので、そのような無茶な働き方を当たり前と受け入れていましたし、周りのパワフルな先輩教員に圧倒されながらも憧れていました。そして、軽米高校に勤めていることを誇らしく感じました。

一方、経済的負担の問題にもある程度の解決策が施されました。第十五代の佐々木惇校長の呼び掛けで「軽米高校教育奨励基金」という軽高独自の奨学金制度が平成元年に創設されました。同窓会や教職員に呼び掛けて集められた基金は大学への進学時に一時金として貸与されて、大卒後一定期間を経て返済されるというものです。当時、転出する職員に餞別を贈る文化があったのですが、「餞別返しはせずに、その分基金に入れる」という軽高ルールを作り、少しずつ基金を増やすという取組みも行われました。それによって、年に一、二名ほど進学費用が援助できるようになり、三〇年以上経った現在も脈々と運用されております。当初の役割を終えたようにも感じますが、当時の熱を知る者として背景と想いを少しだけ紹介させていただきます。今後も皆さまからのご支援とご協力で軽米高校を支えていただきたいと思います。

令和5年2月15日現在

## 令和4年度 進学就職状況

### 【進学】

	男子		女子		計	
	進学実数	合格延数	進学実数	合格延数	進学実数	合格延数
国公立大学	2	2	1	1	3	3
私立大学	1	1	1	4	2	5
国公立短期大学	0	0	0	0	0	0
私立短期大学	0	0	1	1	1	1
看護学校等	0	0	2	4	2	4
大学校	2	2	1	1	3	3
専修・各種学校	10	10	1	1	11	11
計	15	15	7	12	22	27

\*進学実数については現時点での予定数である

### 【公務員内訳】

税務職員(東北)  
二戸地域広域行政事務組合消防職員  
自衛隊 自衛官候補生(2)

### 【民間就職】

	男子	女子	計
管内	3	0	3
県内	0	2	2
県外	4	1	5
計	7	3	10

### 【民間就職内訳】

【D建設業】	ハロックス株式会社
【E製造業】	セイコーインスツル株式会社仙台事業所
	株式会社アイソニック軽米事業所
	株式会社夢実耕望
【I卸売業・小売業】	株式会社PJ二戸フーズ
	株式会社デンコードー
	株式会社登美屋
【M情報業、飲食サービス業】	株式会社ヤマダデンキ
	有限会社ぼてじゅう
【N生活関連サービス業、娯楽業】	株式会社ヒラトヤ

令和4年度(令和5年3月)卒業生徒数  
男子28名 女子16名 計44名

【大学校】  
岩手県立農業大学校農産園芸学科農産経営科  
岩手県立農業大学校畜産学科肉畜科  
青森県立農大大学校畑作園芸課程

【専修・各種学校】  
盛岡ヘアメイク専門学校美容科  
仙台理容美容専門学校理容科  
北上コンピュータ・アカデミーコンピュータビジネス科  
仙台デザイン・テクノロジー専門学校  
クリエイティブコミュニケーション科  
専門学校デジタルアーツ仙台ゲームクリエイター科(2)  
東北メディカル学院作業療法学科(2)  
菜園調理師専門学校調理高度技術学科  
専修大学北上福祉教育専門学校福祉介護科  
二戸高等技術専門学校建築科

<>内は延べ数

### 【公務員】

	男子		女子		計	
	就職実数	合格延数	就職実数	合格延数	就職実数	合格延数
管内	1	1	0	0	1	1
県内	0	0	0	0	0	0
県外	1	1	2	2	3	3
計	2	2	2	2	4	4

【国公立大学】  
岩手大学人文社会科学部人間文化課程  
岩手県立大学総合政策学部総合政策学科  
釧路公立大学経済学部経済学科

【私立大学】  
八戸工業大学工学部工学科システム情報工学コース  
東北福祉大学総合マネジメント学部産業福祉マネジメント学科  
東北福祉大学教育学部教育学科初等教育専攻  
宮城学院女子大学教育学部幼児教育専攻  
東北学院大学法学部法律学科

【私立短期大学】  
八戸学院大学短期大学部幼児保育学科

【看護学校など】  
盛岡医師会付属盛岡准看護学院  
八戸市医師会立八戸准看護学院  
二戸高等看護学院、花巻高等看護専門学校

# 2023 部活動報告

## ◎陸上競技部

### ◎福岡スプリング記録会

令和4年4月9日(土)～10日(日) 岩手県総合運動公園陸上競技場  
小林 郁暁 男子400m TR2組4着 56'17  
男子400mH 5位 1'04'29  
槻木澤 海 男子1500m 3000mSC 5位 11'34'49  
富士 蓮 男子ハンマー投げ 5位 24m92  
佐々木菜月 女子1500m 1位 5'01'21  
女子3000m 1位 10'56'24  
安藤 愛理 女子1500m 7位 5'29'62  
女子5000mW 2位 31'49'50

### ◎岩手県高等学校総合体育大会陸上競技東北地区予選

令和4年4月22日(金)～23日(土) 一戸町総合運動公園  
小林 郁暁 男子400m 1位(55.23)  
槻木澤 海 男子1500m 2位(4'33.76)  
男子3000mSC 1位(11'30.16)  
富士 蓮 男子円盤投げ 1位(28m63)  
宮川 凜久 男子走り幅跳び 2位(5m68)  
佐々木菜月 女子1500m 1位(5'00.55)  
女子3000m 1位(10'52.71)  
安藤 愛理 女子800m 1位(2'34.21)  
女子1500m 2位(5'22.40)  
佐々木真菜香 女子円盤投げ 1位(17m49)  
女子やり投げ 1位(15m67)

### ◎岩手県トラック記録会花巻大会

令和4年4月30日(土) 日居城野運動公園陸上競技場  
槻木澤 海 3000mSC 7位 11'06'14  
富士 蓮 男子100m TR25組8着 13'65(+1.0)  
女子3000mSC 1位 12'04'50  
安藤 愛理 女子3000m 3位 11'22'14

### ◎岩手県高等学校総合体育大会陸上競技

令和4年5月20日(金)～23日(日) 北上市総合運動公園陸上競技場  
小林 郁暁 男子400m 予選1組 5位(54.51)  
男子400mH 予選3組 4位(1'02.53)  
準決勝2組 7位(1'02.43)  
槻木澤 海 男子1500m 予選2組 13位(4'38.80)  
男子3000mSC 予選2組 7位(10'45.72)  
男子ハンマー投げ 予選3組 7位(33m37)  
男子円盤投げ 6位(33m94) 東北大会進出  
宮川 凜久 男子走り幅跳び 14位(5m95(-0.7))  
男子400mH 予選4組 6位(1'06.29)  
浅水 颯太 男子ハンマー投げ 13位(19m74)  
女子1500m 予選2組 2位(5'12.78)  
決勝 3位(4'39.59) 東北大会進出  
女子3000m 決勝 3位(10'10.14) 東北大会進出  
女子2000SC 決勝 1位(7'15.02(大会新記録)) 東北大会進出  
安藤 愛理 女子800m 予選2組 4位(2'37.21)  
準決勝2組 7位(2'35.12)  
女子5000mW 決勝 3位(28'46.02) 東北大会進出  
佐々木真菜香 女子円盤投げ 10位(22m06)

### ◎東北高等学校陸上競技大会

令和4年6月14日(火)～17日(金) 新青森県総合運動公園陸上競技場  
安藤 愛理 女子5000mW 14位(25m86)  
佐々木菜月 女子1500m 予選1組 9位(4'45.30)  
女子3000m 決勝 21位(10'00.95)  
女子2000SC タイムレース1組 6位(7'21.06)

### ◎岩手県陸上競技選手権大会

令和4年6月24日(金)～26日(日) 岩手県運動公園陸上競技場  
槻木澤 海 男子1500m タイムレース3組 15位(4'44.53)  
男子3000mSC タイムレース 20位(11'10.91)  
富士 蓮 男子円盤投げ 決勝 2位(33m65)  
男子ハンマー投げ 決勝 3位(33m91)  
宮川 凜久 男子走り幅跳び 決勝 9位(5m94(風速+2.6m))  
男子100m タイムレース23組 4位(12.42(風速-1.6m))  
浅水 颯太 男子円盤投げ 決勝 11位(25m86)  
男子砲丸投げ 決勝 9位(8m08)  
佐々木菜月 女子3000mSC 決勝 1位(11'34.29)  
東北大会進出  
安藤 愛理 女子800m タイムレース 2位(2'32.69)  
女子5000mW 決勝 4位(30'48.41)  
佐々木真菜香 女子円盤投げ 決勝 14位(18m99)  
女子やり投げ 決勝 8位(23m07)

### ◎岩手県民体育大会陸上競技

令和4年7月23日(土)～24日(日) 岩手県運動公園陸上競技場  
槻木澤 海 男子1500m タイムレース3組 8位(4'38.43)  
男子3000m タイムレース 30位(10'23.53)  
富士 蓮 男子円盤投げ 決勝 3位(32m14)  
男子ハンマー投げ 決勝 5位(32 m97)  
浅水 颯太 男子砲丸投げ 決勝 13位(8m56)  
男子円盤投げ 決勝 11位(25m86)  
佐々木菜月 女子1500m 8位(4'53.20)  
安藤 愛理 女子1500m タイムレース 27位(5'16.62)  
女子3000mW 決勝 3位(16'35.46)

### ◎東北総合体育大会

令和4年8月20日(土)～21日(日) 新青森県総合運動公園陸上競技場  
佐々木菜月 女子3000mSC 決勝 3位(11:51.96)

### ◎岩手県U16陸上競技大会

令和4年8月27日(土) 岩手県運動公園陸上競技場  
宮川 凜久 男子走り幅跳び 決勝 1位(6m45(風速+0.9m 大会新記録))  
佐々木真菜香 女子円盤投げ(1.000kg) 決勝 1位(21m68)

### ◎岩手県高等学校新人大会陸上競技

令和4年9月9日(金)～11日(日) 岩手県運動公園陸上競技場  
槻木澤 海 男子3000mSC タイムレース 15位(11'25.90)  
富士 蓮 男子ハンマー投げ 4位(41m16) 東北大会進出  
男子円盤投げ 1位(34m83) 東北大会進出  
宮川 凜久 男子走り幅跳び 5位(6m49 追い風参考記録(風速+2.8m))

浅水 颯太 男子砲丸投げ 16位(8m34)  
男子円盤投げ 7位(27m83)  
安藤 愛理 女子5000mW 決勝 3位(27'42.85)  
東北大会進出  
女子800m 決勝 5位(2'33.22)

◎東北高等学校新人大会陸上競技  
令和4年9月28日(水)～30日(金) NDソフトスタジアム山形  
富士 蓮 男子ハンマー投げ 18位(37m81)  
男子円盤投げ 8位(34m77)  
安藤 愛理 女子5000mW 10位(27'57.59)

◎全国高等学校駅伝競走大会岩手県予選会  
令和4年10月20日(木) イーハートパーク花巻ハーフマラソンコース  
男子合同チーム(軽米・久慈東・巻巻・盛岡第三・北上翔南)  
槻木澤 海 4区(8.075km) 32:137 区間14位相当  
総合 2:36:0517 14位相当

女子合同チーム(軽米・久慈・盛岡農・西和賀)  
佐々木菜月 1区(6.000km) 25:52 区間8位相当  
安藤 愛理 5区(5.000km) 19:59 区間7位相当  
総合 1:27:07 6位相当

### ◎JOCジュニアオリンピックカップ

令和4年10月22日(土) 愛媛県総合運動公園陸上競技場  
佐々木真菜香 女子円盤投げ 37位(23m67)

### ◎岩手県秋季陸上競技大会

令和4年10月29日(土)・30日(日) 岩手県運動公園陸上競技場  
槻木澤 海 男子1500m タイムレース4組 15位(4'39.19)  
富士 蓮 高校男子ハンマー投げ 2位(39m97)  
高校男子円盤投げ 1位(32m41)  
宮川 凜久 男子走り幅跳び 19位(5m89 (風速+1.0m))  
浅水 颯太 高校男子砲丸投げ 10位(9m57)  
高校男子円盤投げ 11位(26m87)  
安藤 愛理 女子1500m 7位(4'56.02)  
ジュニアA女子3000m 13位(11'00.93)  
佐々木真菜香 女子円盤投げ 9位(23m79)  
女子ハンマー投げ 3位(29m16)

### ◎岩手県トラック競技記録会

令和4年11月12日(土) 日居城野運動公園陸上競技場  
安藤 愛理 女子5000mW 2位(28'16'15)

### ◎卓球部

◎岩手県高等学校総合体育大会卓球競技二戸地区予選  
令和4年4月22日(金)～23日(土) 一戸町体育館  
男子ダブルス 下谷地雄紀・圃田 康生 ベスト8  
小林 颯太・田澤 健太 ベスト16  
男子シングルス 下谷地雄紀 ベスト8 (県大会出場)

圃田 康生 ベスト16  
小林 颯太 ベスト16  
田澤 健太 ベスト16  
林 嘉太 1回戦敗退  
明石 佳大 1回戦敗退  
女子ダブルス 関向 怜奈・向屋敷 每 ベスト8  
女子シングルス 関向 怜奈 優勝(県大会出場)  
向屋敷 每 ベスト16  
栗山 玲奈 1回戦敗退

◎岩手県高等学校総合体育大会卓球競技  
男子団体 2回戦 軽米 不戦勝 一関高等  
3回戦 軽米1-3花巻北  
日向優暉花  
男子ダブルス 間澤 康大・福田 悠真 3回戦敗退  
男子シングルス 間澤 康大 ベスト16(県大会出場)  
福田 悠真 ベスト16  
下谷地雄紀 2回戦敗退

女子団体 1回戦 軽米 3-1 江南菱塾  
2回戦 軽米 1-3 一関高等  
女子シングルス 関向 怜奈 2回戦敗退  
◎東北高等学校卓球選手権大会 令和4年6月24日(金)～26日(日)  
男子シングルス 間澤 康大 2回戦敗退

◎岩手県高等学校新人大会卓球競技  
令和4年9月17日(土)・18日(日) 一戸町体育館  
男子ダブルス 明石 佳大・泉山 叶多 3位(県大会出場)  
男子シングルス 明石 佳大 優勝(県大会出場)  
泉山 叶多 3回戦敗退  
女子団体 軽米・一戸合同 2位(県大会出場)  
女子ダブルス 向屋敷 每・鈴木 日菜 予選リーグ 4位  
女子シングルス 向屋敷 每 準優勝(県大会出場)  
鈴木 日菜 1回戦敗退  
栗山 玲奈 1回戦敗退

◎岩手県高等学校新人大会卓球競技  
令和4年10月21日(金)～23日(日) 奥州市総合体育館  
男子ダブルス 明石 佳大・泉山 叶多 2回戦敗退  
男子シングルス 明石 佳大 1回戦敗退  
女子団体 1回戦 軽米・一戸1-3花巻農業  
女子シングルス 向屋敷 每 3回戦敗退

### ◎バレーボール部

◎岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技  
令和4年5月20日(金) 花巻市総合体育館  
1回戦 福岡 軽米 0-2 一関第一  
◎バスケットボール部  
◎岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
令和4年5月25日(水)～29日(日)  
北上市総合体育館・奥州市総合体育館  
男子 2回戦 軽米 62-119 盛岡商業  
女子 1回戦 福岡 軽米 89-67 盛岡北  
2回戦 福岡 軽米 69-51 盛岡第一  
3回戦 福岡 軽米 56-86 水沢

◎岩手県高等学校新人大会バスケットボール大会  
令和5年1月13日(金)～16日(日) 一関市総合体育館  
男子 2回戦 軽米82-102 盛岡誠校

### ◎硬式野球部

◎春季東北地区高等学校野球岩手県大会東北地区予選  
令和4年4月29日(金)～5月7日(土) 野田村総合運動公園野球場  
1回戦 伊保内・軽米 1-4 久慈  
敗者復活1回戦 伊保内・軽米 9-8 大野 素波

代表決定戦 伊保内・軽米 9-3 久慈工業 県大会出場

◎春季東北地区高等学校野球岩手県大会  
令和4年5月21日(土) 野田村総合運動公園野球場  
1回戦 伊保内・軽米 4-5 水沢商業  
◎全国高等学校野球選手権大会  
令和4年7月11日(月)～19日(火) 花巻球場・しんきん森山スタジアム  
1回戦 伊保内・軽米 1-0 大船渡東  
2回戦 伊保内・軽米 5-2 花北青雲  
3回戦 伊保内・軽米 0-10 一関学院 ベスト16

◎秋季東北地区高等学校野球岩手県大会東北地区予選  
令和4年8月27日(土)・30日(火) 野田村総合運動公園野球場  
1回戦 東北連合(軽米・大野・一戸・久慈工業) 2-4 福岡工業  
敗者復活1回戦 東北連合 0-3 久慈東

### ◎剣道部

◎岩手県高等学校総合体育大会剣道競技  
令和4年5月20日(金) 岩手県体育館  
男子個人戦 川原本流星 4回戦敗退  
金濱 春翔 1回戦敗退  
女子個人戦 向屋敷 明 4回戦敗退  
◎岩手県高等学校新人大会剣道競技  
令和4年11月12日(土) 花巻市総合体育館  
男子個人戦 川原本流星 1回戦敗退

### ◎ソフトテニス部

◎岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技二戸地区予選  
令和4年4月22日(金)～23日(土) 一戸町総合運動公園  
男子個人戦 蛇口 太成・高森 俊祐 第3位(県大会出場)  
池端 主輝・戸能 智哉 予選リーグ敗退  
女子個人戦 山籠 颯花・戸田 結夏 第3位(県大会出場)

◎岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会  
令和4年4月28日(木)～29日(金)  
和興川グリーンパークテニスコート  
女子ダブルス 山籠 颯花・戸田 結夏 1回戦敗退  
女子シングルス 山籠 颯花 1回戦敗退  
◎岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技  
令和4年5月28日(土)～30日(日)  
和興川グリーンパークテニスコート

男子団体戦 1回戦 軽米 0-3 一関高等  
男子個人戦 蛇口 太成・高森 俊祐 1回戦敗退  
女子団体戦 1回戦 軽米・久慈工業 1-2 盛岡市立  
女子個人戦 山籠 颯花・戸田 結夏 1回戦敗退

◎岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技二戸地区予選  
令和4年8月26日(金)・27日(土) 一戸町総合運動公園  
男子個人戦 戸能 智哉・高森 俊祐 第2位(県大会出場)  
女子個人戦 山籠 颯花・山根 夕佳 第3位(県大会出場)

◎岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技  
令和4年9月30日(金)・10月1日(土)  
和興川グリーンパークテニスコート  
男子団体戦 2回戦 軽米・福岡 1-2 水沢工業  
男子個人戦 戸能 智哉・高森 俊祐 1回戦敗退  
女子団体戦 1回戦 軽米・沼宮内・大東 2-1 岩谷東  
2回戦 軽米・沼宮内・大東 0-3 一関第一  
女子個人戦 山籠 颯花・山根 夕佳 1回戦敗退

### ◎書道部

◎岩手県高等学校書道作品コンクール  
令和4年7月3日(日)～6日(水) 岩手県民会館  
奨励賞 玉籠 一希  
日向優暉花  
◎全日本高校・大学生書道展  
令和4年8月23日(火)～28日(日) 兵庫県民会館  
漢字部門 優秀賞 山籠 颯花  
調和部門 優秀賞 山籠 颯花

◎岩手県高等学校総合文化祭書道部門展  
令和4年11月3日(日)～7日(木)  
第1種 漢字・仮名  
入選 坂崎 流星  
日向優暉花  
山籠 颯花  
福田 紗采  
第1種 漢字仮名交じり  
入選 玉籠 一希  
日向優暉花  
山籠 颯花  
福田 紗采

第2種 漢字・仮名  
入選 柴葉 萌那

### ◎第51回岩手県書道書道作品コンクール

推薦 福田 紗采  
特選 坂崎 流星  
山籠 颯花

### ◎美術部

◎岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展  
令和4年11月15日(火)  
デザイン部門 入選 外山 愛梨  
高橋 菜央  
玉田 しずく  
工芸部門 入選 安藤 早矢加

### ◎第9回学生ファッションデザイン

奨励賞 若山 未来 「ウオータームードレス」

### ◎吹奏楽部

◎岩手県吹奏楽コンクール東北地区大会  
令和4年7月10日(日) 二戸市民文化会館  
高等学校小編成部 銀賞 曲名 オペラ「トゥーランドット」

### ◎音楽部

◎第32回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト  
令和5年1月28日(土)  
高等学校部門 銅賞